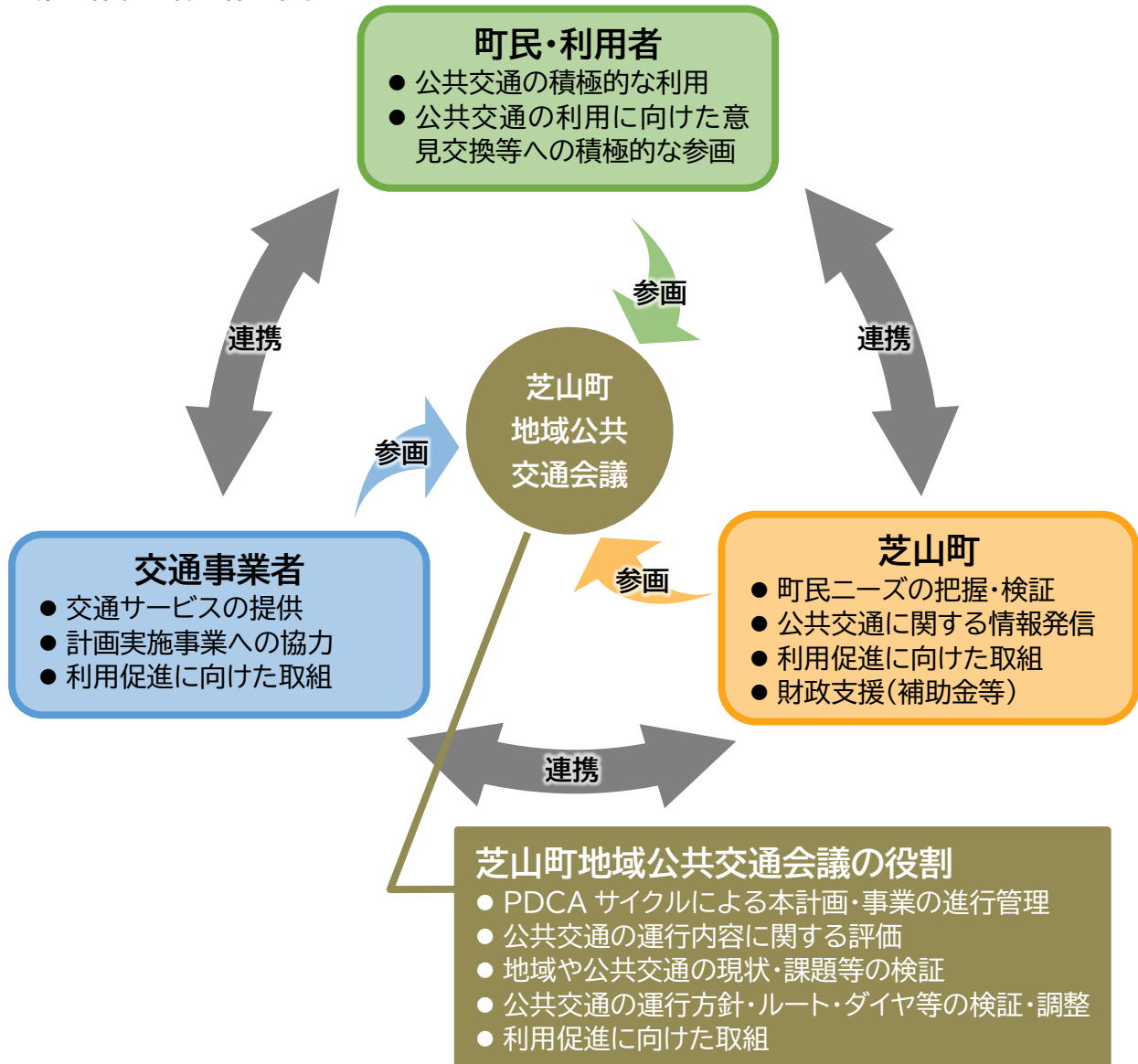


## 第9章 計画の推進方策

### (1) 計画の推進及び進行管理の体制

本計画の推進にあたっては、芝山町地域公共交通会議が母体となって、公共交通に関わる多様な主体（町民・利用者、交通事業者、芝山町等）が連携・協働しながら、総合的に取組を進めることが重要である。そのため、次のような役割分担のもと、各事業に取り組むための体制づくりを進める。

#### ■推進体制と各主体の役割

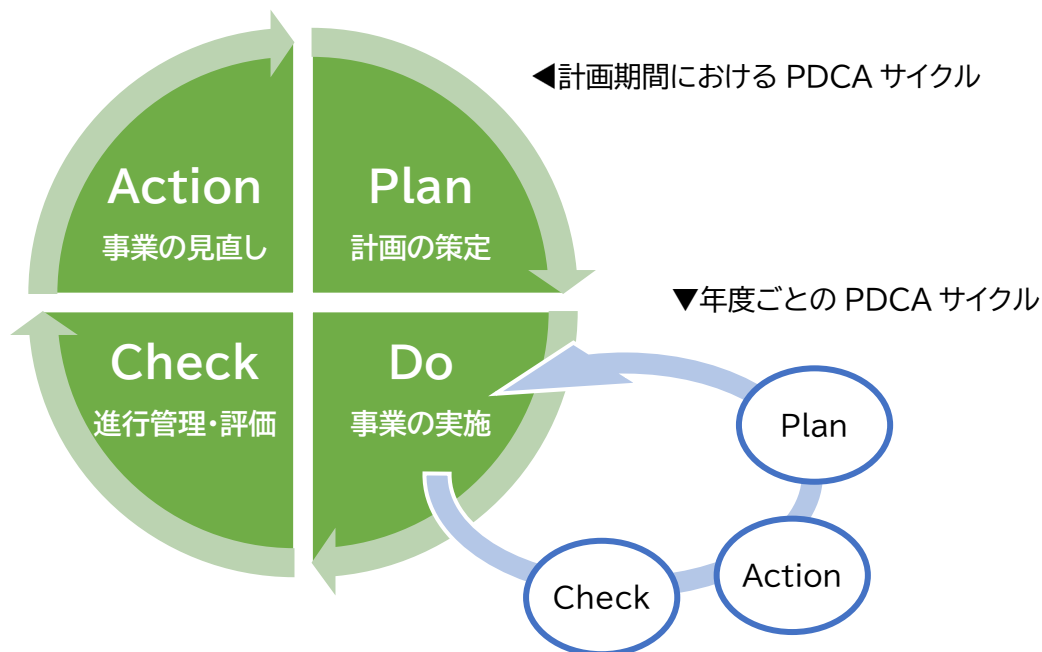


## (2) PDCAサイクルによる進行管理

本計画の推進にあたっては、地域の人口減少や成田空港の更なる機能強化、自動運転をはじめとする技術革新等、公共交通を取り巻く環境の大きな変化を前提として、本計画に記載した事業等の評価・検証を綿密かつ継続的に行い、必要に応じて見直しを図る必要がある。

そこで、評価・検証においては「PDCA サイクル」の仕組みによる進行管理を行い、目標達成の状況把握や事業の見直し・改善を行うこととする。

なお、PDCA サイクルによる進行管理については、中長期的な「計画期間における PDCA サイクル」と短期的な「年度ごとの PDCA サイクル」を組み合わせ、効果的に実施していくこととする。実施結果を関係者で共有し、芝山町地域公共交通会議にて調整を図りながら、より良い公共交通ネットワークの実現を図っていく。



## (3) 評価方法及びスケジュール

計画最終年度においては、各交通事業者から提供される利用実績や町民アンケート調査結果等を踏まえて、実施事業や本計画の評価・検証を行い、必要に応じて計画や目標値の見直しを行う。

### ■評価スケジュール

項目	年度	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 8 (2026)	令和 9 (2027)	令和 10 (2028)
公共交通利用者数の把握		●	●	●	●	●
町民アンケート調査						●
利用者アンケート調査						●
実施事業の評価		●	●	●	●	●
本計画の評価						●
本計画・目標値の見直し						●
芝山町地域公共交通会議の開催		●	●	●	●	●